

岩国市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

① 評価指標と目標値

目標		目標を達成するための取組			調査方法	達成状況・分析 (既に中間目標値を上回っている場合は○)	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市民一人当たりの鉄道・バス等年間利用回数	岩国・由宇エリア	鉄道			<ul style="list-style-type: none"> 都市間・地域間幹線及び乗継拠点アクセス線の維持・確保 地域内支線の維持・確保・デマンド交通等への見直し 乗継拠点の整備 バリアフリー車両の導入や利用者目線での情報提供の実施 公共交通に係る新技術の研究・実装 鉄道のより一層の利用促進とあり方の検討 効果的なモビリティ・マネジメントの推進 公共交通の担い手確保・連携強化 沿線関係者との連携・共創 	交通事業者の利用実績により算出(R6.4～R7.3)	実績:33.6回 ○ 当エリアを運行するJR山陽線及びJR岩徳線の利用者が約3,180千人となり、昨年度から約20千人減少したものの、当エリアの人口も約2千人減少したことから、1人あたりの年間利用回数としては増加している。	今後についても、利用者増に向けて様々な媒体を活用して鉄道やバス等のPRを進めていく。 利用者が少ないバス路線については、運行形態を変更するなどし、持続可能な運行を図っていく。
		基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)				
		33.2回	33.5回	33.5回				
		バス等						
		基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)				
		14.1回	14.2回	14.2回				
	玖西エリア	鉄道					実績:12.0回 ▲ 玖西エリアを運行するJR岩徳線の利用が252千人となり、昨年度から約3千人増加した。	
		基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)				
		11.7回	12.2回	12.2回				
		バス等						
		基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)				
		3.5回	3.7回	3.7回				
玖北エリア	鉄道			実績:19.5回 ○ 当エリアを運行する錦川清流線の利用者は128千人となり、昨年度から約3千人減少したものの、過疎地域である当エリアの人口も約300人減少したことから、1人あたりの年間利用回数としては増加している。				
	基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)					
	19.1回	19.4回	19.4回					
	バス等							
	基準値 (R5)	中間目標値 (R8)	最終目標値 (R13)					
	7.8回	8.4回	8.4回					
						実績:4.2回 ○ 大幅増の主な原因としては、玖西エリアを運行する防長交通の路線バスの利用が約74千人となり、昨年度から約12千人増加したことによる。		
						実績:8.7回 ○ 美和地区の坂上高校にバスで通学する生徒は、年々減少傾向にあるが、R6年度に美和地区で生活交通バスの路線を再編したことにより、利用者が増加した。		

(記載に当たっての留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(○年○月～○年○月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。